

第2章

事業の企画から実施まで

1 各国政府代表者連絡会議①

各国政府代表者を東京に招へいし、第48回「東南アジア青年の船」事業の終盤の2024年12月5日に、第49回「東南アジア青年の船」事業の方針について協議を行った。

(1) 議題

第49回事業計画について

- 事業日程
- 参加国・人数
- 今後のスケジュール
- その他

(2) 議事

まず、内閣府から第49回事業計画について説明を行い、質疑応答及び意見交換が行われた。

本会議における主な合意事項は次のとおりである。

- ① 第49回事業は、2026年1月～2月に、船上活動、日本国内活動及び訪問国活動（シンガポール及びタイ）を行う。

- ② 参加国にミャンマーは含めない。東ティモールのオブザーバー参加を提案する。ただし、事業実施時までの状況の変化により、参加国の変更の可能性もある。

- ③ PYの数は各国16名ずつとし、日本は20名、東ティモールは6名とする。

(3) 会議出席者

この会議に出席した各国政府代表者は次のとおりである。このほか、参加各国事後活動組織代表者がオブザーバーとして同席した。



ブルネイ	Ms. Hajah Noor Maslina binti Haji Sulaiman (文化青年スポーツ省青年スポーツ部青年担当チーフ)
カンボジア	Ms. Socheath Sroy (教育青年スポーツ省青年局長)
インドネシア	Ms. Annisa Heru Putranti (青年スポーツ省初級政策分析官)
ラオス	Mr. Phouvong MANIVONG (ラオス人民革命青年同盟内閣次長)
マレーシア	Mrs. Wan Azira binti Abd Aziz (マレーシア青年スポーツ省青年育成課国際担当係長)
フィリピン	Ms. Cristabeth Jacinta Asor Madrigal (国家青少年委員会大統領府担当第6号職員)
シンガポール	Ms. Hasliza Binte Ahmad (全国青年評議会青年担当課長)
タイ	Mrs. Apinya Chompumas (社会開発・人間安全保障省子供青年局長) Ms. Suphawida Kritidech (社会開発・人間安全保障省子供青年局公的部門開発部長)
ベトナム	Ms. Le Hông Nhung (ベトナム国家青年委員会国際部副部長)
東ティモール (オブザーバー)	Mr. Joao Maria Simao Barreto (青年・スポーツ・芸術・文化省青年局チーフ)
	Mr. Cunha Dos Santos Carlos (青年・スポーツ・芸術・文化省職員)

日本	藤森 俊輔 (内閣府青年国際交流担当室参事官)
	赤司 智一 (内閣府青年国際交流担当室参事官補佐)
	武田 由香子 (内閣府青年国際交流担当室主査)
	畠野 恵 (内閣府青年国際交流担当室主査付)

2 内閣府による事前調査（シンガポール・タイ）

訪問国活動の準備状況などについて調査するため、事前調査を実施した。3月25日から3月28日までの4日間タイを、5月13日から16日までの4日間シンガポールを訪問した。



内閣府によるシンガポール事前調査

事前調査では、各国政府から提出された訪問国活動計画書に基づいて、各国政府担当者と協議し、訪問国活動の細部について、検討、調整を行った。



内閣府によるタイ事前調査

3 日本参加青年の選考

日本参加青年の募集は内閣府が行った。なお、応募資格は次のとおりである。

- (1) 日本の国籍を有すること。
- (2) 令和7年4月1日現在、18歳以上30歳以下の者であること。
- (3) 健康で、長期の共同生活・航海に耐えることができること。
- (4) 協調性に富み、事業の計画に従って規律ある団体行動ができること。
- (5) 日本の社会、文化等について相当程度の知識を有すること。
- (6) 交流対象国に対して関心と理解があること。
- (7) 本事業における活動（ディスカッション等）を円滑に行うことができる英語力を有すること。
- (8) 事前研修、出航前研修、本体プログラムの全日程に

参加できること。

- (9) 事業終了後もその経験をいかして社会貢献活動等を活発に行うことが期待できること。
- (10) 事業内において、内閣府及び本事業の支援業務を受注した業者が撮影した写真及び動画等について、内閣府及び関係団体のHP、SNS及びその他広報に用いることに同意すること。
- (11) 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の感染症対策について、内閣府が求める必要な対応について協力できること。
- (12) 本事業を含め、過去に内閣府が主催する青年国際交流事業に参加したことがないこと。

内閣府は、応募者に対して書類選考、Webテスト及び面接試験を実施し、20名を合格者とした。

4 各国政府代表者連絡会議②（オンライン）

第49回「東南アジア青年の船」事業の寄港地である日本、シンガポール、タイにおけるプログラムの準備状況等について情報交換を行うため、2025年7月30日にオンラインにて第49回「東南アジア青年の船」事業関係各国連絡会議を開催した。

内閣府は、この会議における各国の合意に基づき、本事業の実施内容を決定し、会議終了後、各国政府へこれらを送付した。以後、参加各国政府は、関係各国連絡会議における合意事項に基づき、本事業に向けて準備を進めた。

(1) 議題

- a. 各国における参加青年の選考について
- b. 第49回事業準備進捗について
 - ・ 日本国内活動について
 - ・ 船上活動について
 - ・ シンガポール及びタイの寄港地活動について
 - ・ 事後活動組織代表者の乗船について
 - ・ バンコクにおいて日本側が実施する行事・式典について
- c. 第50回事業の主要項目

(2) 議事

まず、内閣府から本事業の実施内容などについて説明を行い、それぞれ質疑応答が行われた。本会議における主な合意事項は次のとおりである。

1. 東京・地方プログラム、船上・訪問国プログラムを組み合わせて事業を行う。
2. 実施期間は東京プログラムは1月16日から24日まで、船上・訪問国プログラムは1月25日から2月16日まで実施する。
3. PYの人数は東ティモールを除く各国16名ずつとし、東ティモールは6名、日本は20名とする。
4. 安全対策については、特に感染症対策として、各国政府は自国の参加青年に対し、事業参加前に予防接種を受けるよう指導し、必要に応じて日本政府の方針に従う。
5. 内閣府が事業実施に係る各種資料を作成するため、東南アジア各国政府は、参加者名簿などの提出期限を守る。
6. ファシリテーター会議を8月25日及び10月8日の2日間、ナショナル・リーダー会議を10月22日及び12月10日の2日間、それぞれオンラインで開催する。

(3) 会議出席者

この会議に出席した各国政府代表者は次のとおりである。このほか、参加各国事後活動組織代表者がオブザーバーとして同席した。

ブルネイ	Ms. Hajah Noor Maslina binti Haji Sulaiman (文化青年スポーツ省青年スポーツ部青年担当チーフ)
カンボジア	Mr. Mel Phanseya (教育青年スポーツ省青年子供教育課長)
インドネシア	Mr. Esa Sukmawijaya (青年スポーツ省青年国際交流担当補佐)
ラオス	Mr. Yangpao PAYAVEU (ラオス人民革命青年同盟青年育成局長)
マレーシア	Ms. Umaimah Husni Akramova (マレーシア青年スポーツ省上席課長補佐)
フィリピン	Ms. Cristabeth Jacinta Asor Madrigal (国家青少年委員会 大統領府担当第6号職員)
シンガポール	Ms. Michelle Ling (全国青年評議会国際担当課長補佐)
タイ	Ms. Sirilak Meemak (社会開発・人間安全保障省子供青年局副局長)
ベトナム	Ms. Le Hong Nhung (ベトナム国家青年委員会国際部副部長)

東ティモール	Mr. Firminio Dias Quintas (青年・スポーツ・芸術・文化省青年育成担当課長)
日本	牧野 将宏 (内閣府青年国際交流担当室参事官) 赤司 智一 (内閣府青年国際交流担当室参事官補佐) 武田 由香子 (内閣府青年国際交流担当室主査) 瀬野 遥可 (内閣府青年国際交流担当室主査付) 野木 香住 (内閣府青年国際交流担当室参事官補佐)

5 ファシリテーター会議（オンライン）

第49回「東南アジア青年の船」事業におけるディスカッション活動の目的などについて、ファシリテーターに共通認識をもってもらうとともに、その運営方法等について協議、情報交換等を行うことにより、ディスカッション活動の円滑かつ効果的な実施に資するため、6名のファシリテーターが出席し、8月25日及び10月8日の2日間、第49回「東南アジア青年の船」事業ファシリテーター会議をオンラインにて開催した。

この会議の議題は次のとおりである。

第1回ファシリテーター会議議題（8月25日）

- ① 第49回事業概要
 - ・ 目的と内容について
 - ・ 日程について
 - ・ ファシリテーターの役割について
 - ・ 事後活動セッションについて
 - ・ ディスカッション成果発表について
- ② グループテーマについてファシリテーターからの発表

- ③ 事務連絡
 - ・ 提出資料について
 - ・ 課題別視察について
 - ・ ディスカッション・グループの参加青年について
 - ・ ファシリテーター間の連絡について
 - ・ 渡航とビザについて
- ④ 質疑応答

第2回ファシリテーター会議議題（10月8日）

- ① 安全管理について（ハラスメント対策を含む）
- ② グループテーマについてファシリテーターからの発表
- ③ 事務連絡
 - ・ 課題別視察について
 - ・ ディスカッション運営委員会について
 - ・ 活動日程について
 - ・ 計画書について
 - ・ にっぽん丸の設備・備品について
- ④ 質疑応答
- ⑤ ファシリテーター協議

6 ナショナル・リーダー会議（オンライン）

第49回「東南アジア青年の船」事業について、同事業の最高意思決定機関である船内運営委員会（COC）の構成員である参加各国ナショナル・リーダーが一堂に会し、本事業の目的、内容等について十分に理解を深めるとともに、船内活動の基本的事項等について協議を行い、本事業の効果的かつ円滑な実施に資することを目的として、10月22日及び12月10日の2日間、第49回「東南アジア青年の船」事業ナショナル・リーダー会議をオンラインにて開催した。また、ナショナル・リーダー会議に引き続いて、COCの運営方法等について協議するため、COC会議を開催した。

この会議の議題は次のとおりである。

第1回ナショナル・リーダー会議（10月22日）

- ① 第49回事業概要
- ② プログラム期間中の生活について
- ③ 渡航とビザについて
- ④ 事前提出書類について
- ⑤ 質疑応答

第1回COC会議（10月22日）

- ① ナショナル・リーダー間のディスカッション
- ② 質疑応答

第2回ナショナル・リーダー会議（12月10日）

- ① 第1回ナショナル・リーダー会議において検討した事項の進捗について
- ② 日本国内活動の地方プログラムについて
- ③ ハラスメント対策を含む安全管理について
- ④ 船内郵便局長からのお知らせ
- ⑤ フィードバック

第2回COC会議（12月10日）

- ① ナショナル・リーダー間のディスカッション

7 日本国内活動に関する準備

本事業の日本国内活動は、東京都内及び近郊におけるプログラムと、5県を訪問する地方プログラム（ホームステイを含む）から成っている。

（1）東京都内及び近郊におけるプログラム

①課題別視察（ディスカッション活動）

船内におけるディスカッション活動のディスカッション・テーマ別に、1. 質の高い教育、2. 経済成長と持続可能で責任ある観光、3. 地球環境と気候変動、4. 防災と復興、5. 社会福祉と包括的な社会の実現、6. デジタル社会と人工知能（AI）、の6分野における視察コースを設定し、視察を通じて日本における各テーマの現状などを知るための内容を企画し、準備を進めた。

②式典等

参集式、表敬訪問、出航式、解散式、解散交歓会などについて準備を進めた。

（2）地方プログラム

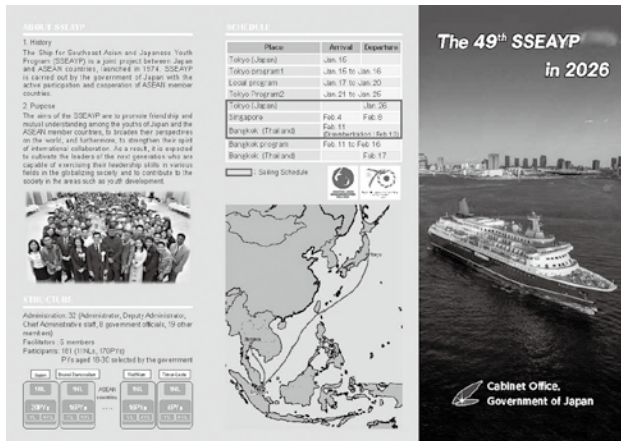
内閣府は、5月28日、7月16日及び12月3日、本年度の受入県に決定した5県（岩手県、千葉県、富山県、徳島県、長崎県）の担当者と、「受入県担当者等会議」をオンラインで開催した。会議では、内閣府から各県の担当者に対して、各地方プログラムにおける地元青年との交流や学校などへの施設訪問、表敬訪問などの企画、ホームステイ家庭の手配などを依頼した。

これを踏まえて各県が作成した受入日程案について、各県と更に調整を重ね最終日程を決定した。また、各県は、ホームステイ実施の際の受入家庭・PY組合せリストを作成するなど、実施に向けて準備を進めた。

8 事業関係資料の作成

事業を円滑に実施するため、次の資料を作成し、参加者及び関係者に配布した。

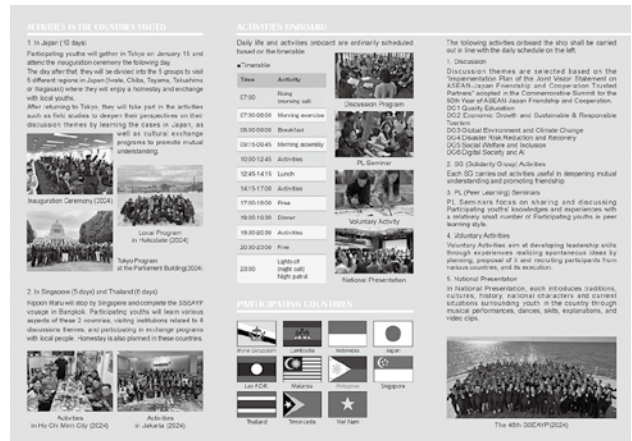
- (1) 本年度事業のスケジュール、船内活動の概要等をまとめたハンドブック
- (2) 参加者の氏名や顔写真をまとめたPROFILES OF



リーフレット

PARTICIPANTS

- (3) ディスカッション・グループやソリダリティ・グループごとに参加者をまとめたLIST OF PARTICIPANTS
- (4) 本年度事業についてまとめた広報用のリーフレット



9 日本参加青年の事前研修及び出航前研修

(1) 日本参加青年に対する事前研修

日本参加青年の選考試験に合格した20名に対し、9月12日から16日までの5日間、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて事前研修を行った。この研修は、本事業の効果的な目的達成を図るため、日本参加青年に事業の趣旨及び目的を十分に理解させ、PYとしての心構えを養い、東南アジアについての認識と理解を深めさせることを目的として、合宿形式により実施した。今年度は「世界青年の船」事業との合同開催であった。

日本参加青年は、船内及び訪問国における諸活動について、説明を受けるとともに、海外渡航のための手続きに関する説明などを受けた。また、船内諸活動の役割分担の決定と準備事項の確認、YL及びAYLの互選、ディスカッション活動・事後活動セッションに向けた準備などを行った。さらに、外務省担当者からASEAN及び訪問国の情勢について説明を受け、また訪問国の在日大使館を表敬訪問した。



甲藤岳史外務省アジア大洋州局地域政策参事官室課長補佐による「ASEAN情勢及び日・ASEAN関係」講義



米光雅宣外務省アジア大洋州局南部アジア部南東アジア第一課課長補佐による「タイ情勢及び日・タイ関係」講義

月日	時間	活動内容
9月12日(金)	11:00-11:30 11:30-12:30 12:30-13:30 13:30-13:40 13:40-14:00 14:15-15:00 15:00-15:30 15:45-16:15 16:30-17:00 19:00-20:30 20:30-22:00	受付 制服採寸 昼食 開講式 ・内閣府青年国際交流担当室室長挨拶 ・管理官紹介 オリエンテーション ・管理部等の紹介 ・事前研修について(施設説明含む) ・安全講話 結団式・事業概要説明 「ASEAN情勢及び日・ASEAN関係」講義 講師:甲藤岳史外務省アジア大洋州局地域政策参事官室課長補佐 「シンガポール情勢及び日・シンガポール関係」講義 講師:中村泰徳外務省アジア大洋州局南部アジア部南東アジア第二課課長補佐 「タイ情勢及び日・タイ関係」講義 講師:米光雅宣外務省アジア大洋州局南部アジア部南東アジア第一課課長補佐 アイスブレイク/チームビルディング ・個人の目標設定と共有 ・コンティジェントのテーマ設定 自主活動 国立オリンピック記念青少年総合センター泊
9月13日(土)	9:00-10:30 10:45-11:45 13:30-14:30 14:45-15:45 16:00-17:30 19:00-20:30	異文化理解セミナー 係・役割分担説明 係・役割分担決め 係ごとの方針・進行表作成・既参加青年との懇談 係ごとの方針・進行表作成・既参加青年との懇談 自主活動(活動内容の企画・準備) 国立オリンピック記念青少年総合センター泊
9月14日(日)	9:00-10:30 10:45-11:45 13:30-14:30 14:45-15:45 16:00-17:30 19:00-20:30	ディスカッション講座(基本) 自主活動(活動内容の企画・準備) 自主活動(活動内容の企画・準備) 自主活動(活動内容の企画・準備) YL・AYL選出方法検討 IYEO・事後活動について 国立オリンピック記念青少年総合センター泊
9月15日(月)	9:00-11:00 11:15-12:15 13:30-15:00 15:15-16:45 17:00-17:15 19:00-20:30	ディスカッション講座(実践) 自主活動(活動内容の企画・準備) リーダーシップセミナー 国際情勢セミナー チェックアウトオリエンテーション YL・AYL決定 国立オリンピック記念青少年総合センター泊
9月16日(火)	9:00-10:30 11:00-12:30 13:45-14:15 14:15-14:30	在京シンガポール共和国大使館訪問 在京タイ王国大使館訪問 渡航手続・保険等の説明 閉講式 ・参加青年代表による決意表明 ・ナショナル・リーダー挨拶 ・写真撮影

(2) 日本参加青年に対する出航前研修

前研修を行い、日本参加青年は、船内及び訪問国における諸活動の最終調整を行った。

日本参加青年に対し、1月13日から15日までの3日間、
国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて出航

月日	時間	活動内容
1月13日(火)	13:30-14:30	オリエンテーション ・開会 ・管理部紹介 ・出入国手続・保険・交通費説明 ・日本国内活動説明 ・課題別視察説明 ・帰国時の説明(振り返りについて)
	14:30-15:30	質疑応答
	15:45-17:00	自主活動
1月14日(水)	終日	自主活動
1月15日(木)	終日	自主活動